

## 過去の定例教育委員会の会議要旨

開催日	会議要旨
平成23年4月18日	組織の見直しに伴う行政組織等に関する規則の改正と、学校職員等採用時の健康診断書の様式を変更したことについて報告を受けました。また、平成23年度の各課等の基本方針、具体的な事務事業についても説明を受け、きりしまっ子立志推進事業新規事業が多数計画されているが、今年度限りで廃止する事業はあるかなどの質疑がありました。
平成23年5月18日	スポーツ健康科支援会議の設置要領や、各種条例審議会の委員の選任について一部軽微な修正を加えつつ、全会一致で可決しました。委員から、傍聴者を増やすための工夫と、進路指導の充実について動議が出されました。1点目については、定例教育委員会終了後、傍聴者にも発言の機会を設け、テーマを設定しての意見交換会や、傍聴の感想を聞くこととしました。早速、今回は1人の傍聴者がおられましたので、試行的に御意見をお伺いしました。2点目については、中学校での進路指導のあり方が話題となりました。中学3年生が希望の高校を決める際に参考となる実力テスト等の結果を、もう少し積極的に公表すべきではないかという意見が出されました。
平成23年6月17日	国の法律改正に準じた幼稚園保育料減免規則の一部改正や、第一次集中改革プランの平成22年度取組実績について、報告を受けました。委員からは、減免額は保護者負担額の何割になるのか、また、公の施設の予約システム導入について、市民のニーズがあるのかといった、質問が出されました。委員から中学校の部活動のあり方について、動議が出されました。「早朝練習」まで行う必要があるのかという保護者の声を取り上げたもので、教育委員会事務局は、まずは各学校ごとに顧問教諭を交えて部活動の位置付けを議論させたいと回答しました。
平成23年7月22日	平成22年度実施した各事務事業について、事務局と一緒に自己評価を行いました。事務局の評価結果について説明を受けた後、事務の改善点や工夫すべきことを提言しました。具体的には、幼稚園教育推進事業の補助金交付の目的を明確に相手側に伝えるべきである、また、学校ごとの優れた取組について、ネットワークを駆使して、情報を共有するしくみづくりはできないかなどの意見を述べました。最後に、事務局から南日本新聞社との協定締結について提案があり、全会一致で可決しました。
平成23年8月9日	国分中央高校の来年度の募集定員について、今年度と同様とすることを全会一致で可決しました。また、平成22年度の教育委員の活動状況について、自己点検評価シートを用いて、それぞれの項目ごとに点数をつけました。集計の結果、10点満点に対し8.25点という結果になりました。委員は、翌年度の新規事業や基本方針等については、二箇月連続で討論を行うなど、積極的に取り組んだ。保護者代表の委員を中心に、保護者目線で教育行政諸施策に対し、チェック機能を働かせたなどの意見を述べました。
平成23年9月22日	現在、9月議会へ提案中の議案について、その提案理由を含めた内容の説明を受けました。また、スポーツ基本法の施行に伴う関係規則等の一部改正について、全会一致で可決しました。動議は、中学3年生の進路指導に活用する共通問題作成の取組と、新聞を活用した教育活動の現状についての2件を提出しました。事務局は、5教科の共通問題による実力テストを、11月に実施する予定であることなどを答弁しました。
平成23年10月17日	現在、7校を対象に実施している「小学校のあり方意見交換会」の実施要領や、その途中経過について説明を受けました。また、今後の小中学校への空調機設置方針について、事務局案の報告を受け、原案を承認しました。平成24年度に向けた新規事業について討論を行い、国分中央高校スポーツ健康科の認知度をより高めるための工夫を求めることで、意見が一致しました。

## 過去の定例教育委員会の会議要旨

開催日	会議要旨
平成23年11月18日	<p>今年度学校教育課が取り組んでいる、「中学校進路指導推進事業」の進捗状況について説明を受けました。共通テストの結果をどう活用するかを質問し、事務局は度数分布を配布し、生徒1人ひとりが、各教科ごとに市内で自分がどれぐらいの位置にいるのかを把握してもらいたいと答弁しました。そのほか、来年度予算要求を行った2件の新規事業について討論を行い、体力向上研究指定校について、1校当りの補助金額を増額できないかなどの提案を行いました。</p>
平成23年12月14日	<p>12月議会へ提案中の補正予算案の内容について説明を受けました。デジタル教科書を導入する教科の内訳や、活用計画について確認を行いました。また、小学校のあり方意見交換会の最終報告を受け、小規模校の活性化の方策として、小規模校の児童が1箇所に集まって学習する「集合学習」の充実を検討するよう、事務局に要望しました。</p> <p>さらに、教育相談窓口の保護者への周知形態について、動議を提出しました。学校にスクールカウンセラーなどが配置されていることは知っているが、学校以外の相談窓口のPRが足りないという意見を述べたところ、事務局は、横断的に相談窓口を周知する工夫を検討すると答弁しました。</p>
平成24年1月16日	<p>集中改革プラン平成23年度進捗状況について、項目ごとに報告を受けました。スポーツ振興計画策定へ向けた基本姿勢について、事務局は市内各地に点在する体育施設の今後のあり方も含め、議論を喚起していきたいと答弁しました。また、これからの小学校あり方等について討論を行い、1校当り12学級から24学級が望ましいという表現について、望ましいか望ましくないかは主観が入るので、適正な規模であるという文部科学省の見解のみを記載することとしました。</p>
平成24年2月16日	<p>3月議会へ提案する条例改正案2件について、その改正理由、内容の報告を受けました。また、前回に引き続き「平成24年度霧島市教育行政の基本方向」について討論を行い、「鹿児島県の偉人の伝記」を活用するという表現を継続して盛り込むことや、スポーツの振興について、「プロスポーツ等のキャンプ誘致」は教育委員会の主体的事業ではないので、別の取組を掲載すべきではないかと提案しました。3月に重点施策を含めて最終決定することとしています。</p>
平成24年3月21日	<p>3月議会で審議中の平成23年度補正予算、平成24年度当初予算の内容について報告を受けました。各小中学校への太陽光発電設備の今後の設置計画について、事務局は「大規模改造工事を実施する学校に年次的に整備していく。」と答弁しました。また、「平成24年度霧島市教育行政の基本方向」について、過去2回の討論を踏まえ、事務局が最終案を提示しました。大隅国1300年記念事業に向けた取組の強化を付け加えることなどを確認し、原案のとおり可決しました。</p>